

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890500444
法人名	医療法人社団 久和会
事業所名	グループホーム たちばな
所在地	愛媛県新居浜市宮原町4番3号
自己評価作成日	平成28年1月28日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ①医療法人が経営母体であるため、介護と医療が連携したサービスの提供が可能であり、24時間体制の協力を得ている。
- ②当ホームの半径300メートル以内に、協力病院、保育園、中学校、スーパー等があり、地域密着型サービスを提供する為に必要な社会資源が揃っている。
- ③集団生活を安心安全に送っていただけるよう施設、設備面でご利用者様に配慮した作りである。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- 民家の中にある事業所で、建物内は広々とした造りになっており、インテリアの色合いは明るい暖色系で温かみがある。又、冬場は、床暖房で足元が温かい。さらに、職員のユニホームもオレンジ色にしていた。台所はオープンキッチンで中の様子も見える。テレビの周りにはソファを配置していた。
- この一年間は、利用者と一緒にゆったりと過ごすような時間を作り、信頼関係作りを力を入れて取り組んだ。職員は、やさしい口調で利用者様に接することに取り組んでいる。時には、おやつを選んでもらうよう支援している。利用者の気分等を見て調理にかかわってもらうが、無理強いしないよう気を付けている。
- ご家族には、毎月、「生活の記録」にて利用者個別の状況を報告している。ご家族の来訪は多く、その都度、日頃の様子について報告して、「何か気付いたことはありませんか」とご家族に聞いている。10月には、ご家族同士の交流等を目的に、家族会として、いもたき会を催し、全員の参加があった。次回は、春に家族会としてお花見を行いたいと考えていた。ご家族から「他利用者の衣類が混じっていた」と指摘があった際には、職員で話し合い、すべてに名前を明記して対策を講じた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 		<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム たちばな

(ユニット名) 1 階

記入者(管理者)

氏名 白鞘和久

評価完了日 H28年 2月 3日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 医療法人社団 久和会としての理念 『一人一人の かけがえのない人生の支えとなれるよう 自分に厳しく、他人に優しい医療・看護・介護を実践します』 の下、日々努力しています。	
			(外部評価) 法人理念を事業所理念としても掲げており、各ユニットに掲示している。管理者は、勉強会や申し送り時に理念について話している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 開設前に内覧会を開催し、御近所の方も沢山来ていただきました。 現在までは、職務に不慣れなところもあって、行事などを通して積極的に交流は行えていないのが現状です。これからは保育園、各種ボランティアさんにもお願いし出向き交流する努力を致します。	
			(外部評価) 所在地域は秋祭り等、結束力のある地域でもあり、祭りの折には、駐車場に地域の太鼓台が来てくれて、利用者も外に出て一緒に楽しんだ。事業所は、「地域に馴染んだ事業所を作っていきたい」と考えており、今後は、事業所周辺の資源を活かした取り組みをすすめていきたいと話していた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 今後、勉強会で使用した資料などを提供したり、御相談があればお答えして、認知症に対するご理解を深めていただく努力を致します。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	開催が遅れておりましたが、地元自治会長さんと民生委員さんにお問い合わせに行き現在開催に向け準備を急いでおります。	
			(外部評価)		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	開設間もない為、書類関係で特に担当者に連絡し、指導をいただき、スムーズに運営できる体制を整えつつあります。	
			(外部評価)		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	法人内の福祉施設と連携した勉強会の議題としても取り上げ、身体拘束廃止に向けた知識を習得しています。当ホームは身体拘束に当たる事例はありません。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者施設での虐待に関するニュースが報道されるたびに、職員に対して注意喚起しています。また、年間の勉強会の議題としても取り上げて、質の高い介護サービスの提供を目指しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 法人内の老健施設で権利擁護や成年後見制度について指導を受け、相談があった場合には社会福祉協議会に相談連絡するようにしています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に説明の機会を設け、御家族からの質問などに納得していただけるよう説明しています。十分に納得していただいた上で契約を交わしています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入居者や御家族が職員に対し意見や要望、質問をされる事も多く、また、面会時などにも気になることは申し付けていただけるよう、お声掛けを行っています。しかし、直接言いにくい場合もあるのでご意見箱を設置しています。また、介護相談員の受入により、気軽に思いを話していただき、日々の業務に活かしています。 (外部評価) ご家族には、毎月、「生活の記録」にて利用者個別の状況を報告している。ご家族の来訪は多く、その都度、日頃の様子について報告して、「何か気付いたことはありませんか」とご家族に聞いている。10月には、ご家族同士の交流等を目的に、家族会として、いもたき会を催し、全員の参加があった。次回は、春に家族会としてお花見を行いたいと考えていた。ご家族から「他利用者の衣類が混じっていた」と指摘があった際には、職員で話し合い、すべてに名前を明記して対策を講じた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者は、職員の声に耳を傾けて、必要なことは経営者に相談するなどして職員の意見や提案を反映させています。	
			(外部評価) 開設時から職員で話し合いながら、支援や環境整備に取り組んでいる。ケアについては、各ユニットに主任を配置し、職員を指導している。はじめて自己評価に取り組み、「外部への情報発信不足」に気付いた。今後は、地域やご家族に向けて事業所便り等を作り、情報発信に工夫したいと話していた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 給与水準、労働時間、職場環境など全てきちんと出来ており他のホームと比較しても何ら劣ることはないと思います。超過勤務への評価や、休暇取得についても法定どおりに行なわれており、労働条件には特に問題はないと思います。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 毎月、資質向上のための計画書に基づき、内部研修(勉強会)を行っています。また、外部からの講師をお招きし、接遇などの講習も行っています。資格取得も推奨し、今年度は2名が介護福祉士を受験しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 居宅介護支援事業者の来訪や、電話での問い合わせが多いです。また、見学を希望される事も多く、随時対応し御案内して、医療と連携した質の高いサービスを目指していることを説明しています。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) まずはしっかりとお話を伺い、信頼関係が早く築けるよう努力しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前の面接にあたっては、御本人だけでなく、御家族にも必ずお話を伺っています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 何事においても第一印象が大切ですので、親身になってお話を伺い、初期のケアの方針を立てています。また、ケアマネや入院先の担当者等にも情報の提供を御願ひしています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員も一緒に共同生活を送っているという認識で日々を過ごしています。食事の準備など家事全般においても、職員が一方的に提供するのではなく、入居者の状態に合わせて共にする事を心掛けています。 職員が出動した際、「おかえり」と言って下さる時もあり、『一緒に生活している』と感じてもらえているのではないかと思います。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支えられる一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 開設時から、1ヶ月の生活状態のお知らせ(生活の記録)をお渡ししています。面会時にも、その都度状態の説明や受診・往診の結果をお伝えするようにしており、良い関係が築けていると思っています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会者は多い方だと思います。御家族だけでなく、友人・知人が面会に来られる方もおられます。遠く離れて生活されている御家族から、お手紙やお花が不定期に届く入居者もあり、大変喜ばれています。 年末や正月などには、外出・外泊される方もおられました。 (外部評価) 食事時間にご家族が来訪した場合は、居室に食事を運んで利用者が食事しながらご家族と過ごせるようにしている。利用者が他利用者の食事介助等をしてあげるような場面や、仲良しの方同士で過ごすような場面も見られた。管理者は、今後、利用者が年賀状を出したり、手紙をもらうような機会作りに工夫して、人とのつながりを支援していきたいと話していた。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 様々な生活歴・性格の方々の共同生活であるため、トラブルが全く無いわけではございません。また、認知症による思い込みや勘違いから、トラブルに発展しかけることもあります。そのような時は早めに察知し、大騒動になる前に収めています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 医療法人が母体であるためほとんど退去後に関係が途切れることはありません。退居後も病院や老健施設、居宅介護支援事業所があり、入院、入所、短期入所そしてデイケアなど可能な限りのサポートが可能です。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居前の事前面接だけでなく、普段の生活の中での何気ない会話などからも御本人の希望や要望を引き出し、その後のケアに役立てています。 帰宅願望が強く、「家に帰りたい」と思われている入居者もいらっしゃいますが、『ここが自分の家だ』と提供いただけるよう、居心地の良いホームにしていく努力をしています。	
			(外部評価) 入居前には、管理者やユニット主任がご自宅や病院に出向き、利用者の様子や以前の暮らしぶりを聞き取るようにしている。又、ご家族にフェースシートを記入してもらっている。さらに、入居後に知った情報や気づいたことは、申し送りノートや口頭で申し送りして、職員で情報共有している。	さらに、利用者一人ひとりの性格や習慣、好み等を活かして生活を継続できるように、職員は、個々のことを知る取り組みに工夫してほしい。得た情報を整理して介護計画につなげてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前面接時には必ず、現時点での身体面や精神面の状態だけでなく、生活歴なども伺っています。御家族にとっては一見、ケアに関係のなさそうな質問をさせていただく場合もありますが、御本人の内面を知る上で、とても重要な事だと考えています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の生活の様子は、個別に経過記録を残しています。『○○をされた』だけでなく、何か変わった様子が見られれば、その時の御様子も極力記録しておくようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 介護計画については、御本人の日頃の言葉や思い、御家族からのケアへの要望などをお聞きし、それに添って作成するように心掛けています。ケアプランのモニタリングについては、毎日チェックをしています。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、利用者個々の担当職員が原案をつくり、計画作成担当者をご家族の要望等を踏まえて作成している。計画作成については、利用者やご家族の意向や要望を十分に反映した作成に努めている。計画内容は、毎日チェックして3ヶ月毎の見直しにつなげている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 入居者個別に介護経過を記録しています。往診や受診などの内容・指示はノートに記録したり、日々の気づきや状態の変化などがあれば別のノートにまとめて目を通すようにし、全員が情報の共有が出来るように工夫しています。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 医療法人が母体であり、病院や老健施設と相談・連携しながら対応しています。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 2か月に一回、介護相談員が訪問されています。まだまだ機会は少ないのですが、定期的なボランティアの訪問や御近所のスーパーへの買い物も取り入れています。地域自治体の御好意により、地方祭の際には太鼓台の訪問もしていただきました。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 御家族の希望を優先していますが、現在は協力病院にない診療科のみ他院を受診している方がほとんどです。協力病院への受診の場合は職員が必ず付き添いし、状態に応じて御家族に同席を御願ひしています。他院受診の場合は御家族に付き添いを御願ひし、受診結果を聞き取りするようにしています。	
			(外部評価) 法人医療機関で診てもらえることが、利用者やご家族の安心につながっている。必要時には、医師からご家族や利用者に説明がある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 普段と状態が違っていたり、転倒などがあれば必ず医療連携先に報告し指示に従っています。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 開設から今まで、入院時は全て協力病院なので密接に情報交換を行っています。入院時には、口頭だけでなく『介護サマリー』による情報提供をしています。退院時には、事前に状態の情報交換を行い、ホームに戻ってからの態勢作り(食事形態など)を整えています。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 今までのところ、重度化した場合は主治医から御家族に説明があり、協力病院に入院しての治療が選ばれています。	
			(外部評価) ご家族は、法人内に医療機関や介護施設があることを心強く思っている方が多いようで、終末期のあり方については、法人医療機関とご家族が相談して決めている。管理者は、利用契約時に退居条件について説明しており、「介護が重度になっても退居になることはない」ことも伝えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			緊急時の対応について勉強会を開催だけでなく、協力病院の医師の指導もあり、今まで適切な対応をしています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			各階入り口に避難経路を掲示しています。 9/29に消防署立会いの下、自衛消防訓練を実施しました。消火器の使用法の指導も受けています。今後も、年に2回の避難訓練を実施します。	
			(外部評価)	
事業所内は、オール電化で敷地内は禁煙にしている。昨年9月に、日中の火災を想定して避難訓練を実施した際には、利用者も一緒に避難したり、消火器の使い方を体験した。日常のリハビリ時には階段も使用して、いざの時に備えているが、現在は、2階に車いすを使用する方多く、利用者を1階に降ろすことや夜間の避難誘導に課題を感じていた。	避難訓練を実施して、課題解決に向けての取り組みを重ねてほしい。さらに、災害時には地域と協力し合えるような体制や取り組みが望まれる。地域に向けて事業所は、一時避難場所にもなることを伝えたり、どのような地域の協力が必要か話し合ってみてほしい。			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			普段から、馴れ合いの言葉遣いをしないように注意しながら業務に当たっており、全職員が出来ていると思います。 勉強会や、外部講師を招いての講習も取り入れており、12/9にも接遇対応についての講習を全職員が受けました。	
			(外部評価)	
			この一年間は、利用者と一緒にゆったりと過ごすような時間を作り、信頼関係作りを力を入れて取り組んだ。職員は、やさしい口調で利用者に接することに取り組んでいる。時には、おやつを選んでもらうよう支援している。利用者の気分等を見て調理にかかわってもらうが、無理強いしないよう気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			職員が強制して物事を決めるのではなく、御本人が選択して決定出来るよう心掛けています。 入浴後の着替えの準備などにおいても、御本人と一緒に選ぶようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事の準備や後片付けなど『普段して下さっているから』と、当たり前のように思わずに、その日の体調や気分に応じて無理のないように参加していただいています。 食事やお茶の時間なども強制せずに、御本人の体調に合わせて声掛けを行っています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 着衣失行などで衣類が乱れていたり、食事中に汚れたりした場合は、さりげなく声をお掛けし整えています。 散髪は御家族に御願ひしており、外出されたり、訪問美容を利用されたりしています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けは、職員と一緒に行ってくださいます。御家族が『包丁なんてしばらく持たせてなかった』と言われていた方も、実によく上手に具材を切って下さっています。 食事の際はランチョンマットを使用し、殺風景な食事風景にならないように配慮しています。食器類はご家庭で使われていた物を持って来て頂いています。	
			(外部評価) 湯呑みや茶わん、小鉢やデザート皿、箸は、ご自分用のものを用意してもらっている。昼、夕食は法人厨房で作ったものが届くようになっており、ご飯と汁物、朝食や日曜日の食事は事業所で手作りしている。職員は、お弁当を持参して利用者と同じ席で食べながら介助等している。お寿司の希望が多いことから、毎月一日とお誕生日の日にはお寿司の具材が届き、事業所で作っている。	開設時には、職員で「徐々に事業所で食事作りできるようにしたい」と話し合った。利用者個々の食事の好みや習慣、食べたいものを採り入れた食事内容となるよう取り組み、又、利用者の力を見極めて食事作り一連にかかわる場面を作る等、利用者が主体の食事ができるような支援に工夫してほしい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 系列の老健施設の管理栄養士から献立を頂き、それに基づき調理・提供していますので、栄養バランスなど不安なく対応出来ています。食事の形態は、主治医からの助言を頂いたり、御本人の状態を見極めながら決定しています。普段は刻み食の方も、軟らかい副食はなるべく刻まずにお出しするなど工夫しています。 毎日の摂取食事量・水分量も記録に残し、栄養管理しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 御本人の状態に応じた介助方法で、毎食後必ず実施しています。普段、自力で歯磨きをされている方も、口腔状態にお変わりがないか、適宜確認しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 排泄チェック表を活用し、各自の排泄パターンを把握出来るように努め、排泄の状態に応じて、必要以上にオムツ類を使用しないように心掛けています。 普段、ベッド上でのオムツ交換が主体となっている方も、希望時などにはトイレへお連れし、排泄を促しています。</p> <p>(外部評価) 病院を退院して入居に至るようなケースが多く、おむつの状態での入居が多いようだ。まずは、トイレに行くことを支援して、状態を記録しながら、トイレで排泄できるような支援に取り組んでいる。職員同士で情報交換して支援に工夫をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運動不足による便秘を引き起こさないよう、ホーム内の歩行を呼びかけたり、レクリエーションでの体操を多めに取り入れています。暖かい日には、気分転換をかねて、近所の散策(公園など)に出掛けています。 お茶を好まれず水分量が少なくなりがちな入居者は、主治医や御家族に相談し、スポーツドリンクなどで補っています。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 「いつも家で入りよる」と入浴拒否が強い入居者がおられますが、無理強いせず、なるべく御本人から進んで入浴していただけるよう声掛けを行っています。 冬至にはゆず湯を楽しめました。</p> <p>(外部評価) 現在は、職員のシフトの関係もあり、ユニットごとに週3日(月・水・金)(火・木・土)14時半～17時が入浴日時になっている。現在、1階の利用者は、入浴日でない日でも入浴したい希望があれば、他ユニットで入浴している。1階にはリフト浴があり、2階は家庭用の浴槽が設置されている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 昼夜逆転を防止するためにも日中は活動的に過ごして頂けるよう活動メニューを考えていますが、御本人の生活リズムや気分に合わせて、無理強いしないように対応しています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の情報は全職員がしっかりと把握出来るよう、薬局の発行する説明書を保存しています。処方時には全ての薬の記名と確認をし、変更があった場合は連絡や申し送りを行い、誤薬などの事故防止に努めています。常に入居者の状態を確認し、副作用などが見られれば、随時、主治医へ報告しています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 日常生活の家事などにおいて、強要することなく残存能力に合わせて自然に参加して頂けるよう、声掛けなど工夫しています。趣味にしていた踊りやハーモニカなど、レクや余暇の時間に披露して頂くなど、生活にハリが持てる工夫も行っています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 最近気温が低くなり行けていませんが、暖かい日には一緒に買い物に行き、食材を選んでいただいています。御本人の希望に応じた外出の機会を持つ事は、現時点ではなかなか難しいのですが、御家族にお願いしたり、季節行事(紅葉狩り、地方祭、初詣など)は多く取り入れるよう努力しています。 (外部評価) 気候の良い時期には、日常的に散歩に出かけている。外出行事を計画して出かける機会を作ったり、ご家族が来られて一緒に外出するようなケースも多い。	さらに、職員は「出かける楽しみを増やしたい」と話していた。地域の中に、利用者がちょっと出かけて過ごせるような場所を開拓してほしい。出かけることで気分転換を図ったり、暮らしの意欲につなげてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭によるトラブル防止の為に居室には現金を置かないようお願いしています。中には、『どうしても持っておきたい』と言われる方が居られ、御家族にお話したのですが、『無くなっても構わないから』と、少額を手元に置かれています(紛失などのトラブルは発生しておりません)。お金は事務所にて管理し、収支については詳細な説明が出来るよう、整理しノートに記載しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話や手紙に対する制限はしていません。御家族からの電話の取り次ぎも職員が行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居者が集まるホールは、間接照明・大きな窓にて過ごしやすい明るさを保っています。室温も、エアコン・床暖房にて過ごしやすく調整出来ています。	
			(外部評価) 民家の中にある事業所で、建物内は広々とした造りになっており、インテリアの色合いは明るい暖色系で温かみがある。又、冬場は、床暖房で足元が温かい。さらに、職員のユニホームもオレンジ色にしていた。台所はオープンキッチンで中の様子も見える。テレビの周りにはソファを配置していた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールには、大きなテーブル以外にもTV前にソファがあり、余暇の時間などは仲の良い入居者同士が隣に座り、思い思いの時間を過ごされています。	
			(外部評価) 入居時に、御家族にお願いして思い出の品や家具を持ち込んで頂いています。本の収集や自費出版をされていた方は本棚を持ち込まれ、沢山の本に囲まれて生活されています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ベッド、ダンスや棚が備え付けになっている。ご夫婦で入居している方は、夫婦で過ごす時間等も大切にできるよう支援している。ご自分で塗ったぬり絵に俳句を書き添えた手作りカレンダーを壁にかけたり、ご家族の写真やプレゼントのぬいぐるみを飾る方がいる。自宅から持ち込んだ椅子に座って過ごしたり、テレビを見る方もいる。	
			(外部評価) 廊下には使いやすい高さに手摺りがあり、それを頼りに移動されています。入居者用のトイレは3か所あり、各居室からすぐに行けるように配置されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			(外部評価)	